

- 120 -

[B] 平氏政権 (律令制に基づいた貴族的性格をもつ一方、西国武士の家人化や日宋貿易など武家的性格を合わせもつ過渡的政権)

平氏政権(六波羅政権)

年 _____ (六波羅殿) が _____ に就任

★平氏一門で官職を独占 (→旧勢力からの反発を受ける)

ex. _____ 「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」 in 『 _____ 』

年 _____ (後白河法皇らによる平氏打倒計画が漏洩)

→ _____ (共に処刑) ・ _____ (喜界島へ配流) を処罰

年 _____ 法皇を _____ に幽閉 (→のち平清盛による専制政治へ)

★『 _____ 』 (_____ 法皇が愛好した _____ 流行歌謡) を集成 (1180 頃)

1180 年 _____ 天皇が譲位 → _____ 天皇 (高倉天皇と _____ の子) が即位

[経済基盤]

① _____ 国 の 知行国 ・ _____ ケ 所 の 荘園

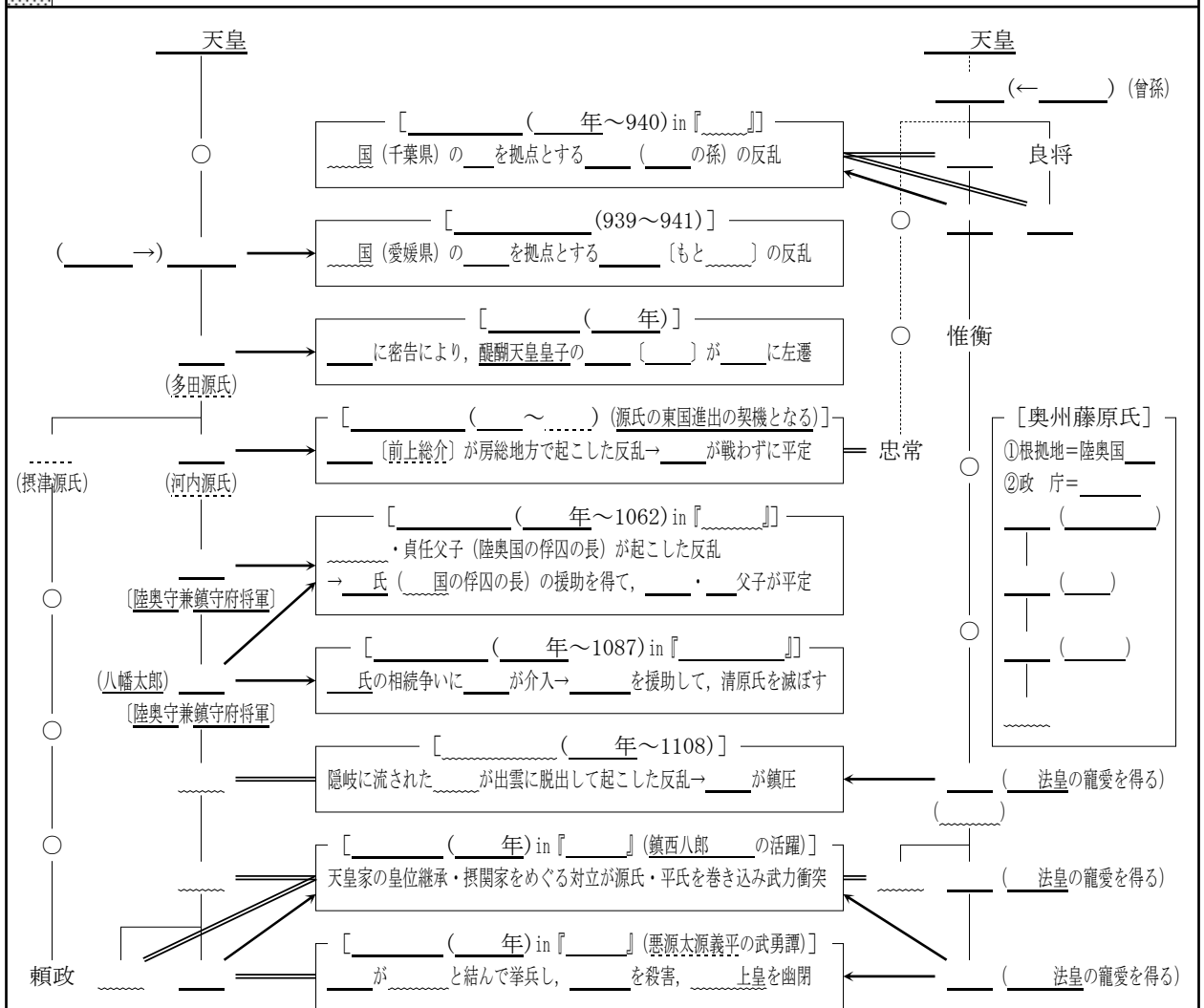
西国の武士と主従関係を結んで平氏の _____ 化し, _____ に任命

② _____ (正式な国交はなく民間商船の往来による私貿易)

輸出 = _____ ⇄ 輸入 = _____ (陶磁器・書籍など)

→ _____ (_____ 国) 修築 (のち _____ と改称 → 現在の _____)

→ _____ (_____ 国) 開削 (_____ 国の _____ 参詣のため)



図解NOTE [武士団の形成(10世紀・11世紀)]

10世紀

①律令体制の変質 (国司の権限強化→国司の課税率に不満をもつ有力農民が増加)

↓ → 地方政治の混乱 (収納をめぐる, 地方豪族・有力農民と国司の対立が激化)

②各地で紛争が発生 (地方豪族・有力農民が勢力を維持・拡大するため武装化)

↓ → 地方豪族が「兵の家」(地方武士団=小武士団)を形成

③紛争解決・鎮圧のため, 国司は地方豪族を国衙に組織

→ _____ (諸国の反乱鎮圧や盗賊などの逮捕にあたる国司支配下の武士)

11世紀

④荘園・公領間の紛争が激化 (荘園の増加によって荘園領主・国司が対立)

⑤中央から軍事貴族を追討使として派遣 (紛争解決・沈静化のため)

↓ → 軍事貴族が土着 (地方武士団(小武士団)と主従関係を結んで大武士団を形成)

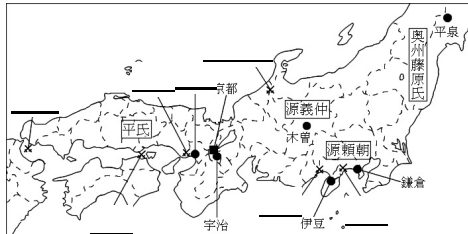
⑥武家の _____ となる ex. 桓武平氏・清和源氏

兵 (首長)

(一族)

(従者)

[A] _____ (源平合戦)

源氏の動向		平氏の動向
天皇	_____年 _____ (後白河法皇皇子) の _____ (天皇以外の皇族からの命令) → _____ の挙兵 (_____の平等院付近で敗死) _____年 _____ の挙兵 (北条時政の援助により _____ で挙兵) _____ の戦い (敗北) → _____ の戦い (_____を破る) _____ (御家人統率機関) 設置 (_____年) ★ _____ (侍所 _____)	→ 1180年 _____ (_____ 国) 遷都 _____ 半年後に平安京に戻す → _____ の南都焼き討ち 1181年 平清盛死去 1181年 ~ _____ の飢饉 (西国中心)
	_____年 _____ [_____ (木曾で挙兵)] 1180年 _____ が挙兵 (木曾) 1183年 _____ の戦い _____ を破る 1183年 義仲入京 (義仲軍乱行) 翌年 _____ となる	→ 1183年 平家都落ち _____ 天皇も都落ち
安徳天皇・ 天皇並立 (実権は後白河法皇)	_____年 _____ 頼朝が _____ 道・ _____ 道・ _____ 道の支配権を朝廷に要求 → 朝廷が頼朝の東国 (_____ 道・ _____ 道) 支配権を承認 _____ (一般政務機関) 設置 (_____年) ★ _____ [公文所 _____] _____ (訴訟処理機関) 設置 (_____年) ★ _____ [問注所 _____] 1184年 _____ (頼朝の弟) を派遣 宇治川の戦い (山城国で義仲敗死) → _____ の戦い (_____ 国) → _____ の戦い (_____ 国) _____年 _____ の戦い (_____ 国) (平家滅亡) → _____ 設置 (1185) のち、後白河法皇が頼朝追討を義経に命じるが失敗 → 逆に義経追討の院宣を発す _____ ・ _____ 設置 (_____ 年) _____ の建議で _____ 追討の名目で設置 → _____ を朝廷に派遣 _____年 奥州平定 (_____ を滅ぼす) → _____ 設置 (_____ 年) _____年 頼朝が初の上洛 → 頼朝が _____ (右大将) に就任 _____年 _____ 没後 → 頼朝が _____ に就任 1195年 東大寺大仏再建供養 (_____ による (宋の工人) の協力)	

将軍	_____ (_____ 年) 御家人の統率 _____ = _____
	_____ (_____ 年) 一般政務 _____ = _____
[_____] (朝廷の重要政務)	→ _____ (1191)
	_____ (_____ 年) 訴訟・裁判 _____ = _____
[_____] (_____) 『 _____ 』	_____ (1225) _____ (1249)
	_____ (_____ 年)
_____	_____ (1185) → _____ (1221)
	_____ (1185) → _____ (1293)
『 _____ 』	_____ (_____ 年)
	_____ (_____ 年)

— [経済基盤 (幕府は経済的には貴族的な側面を持っていた)] —

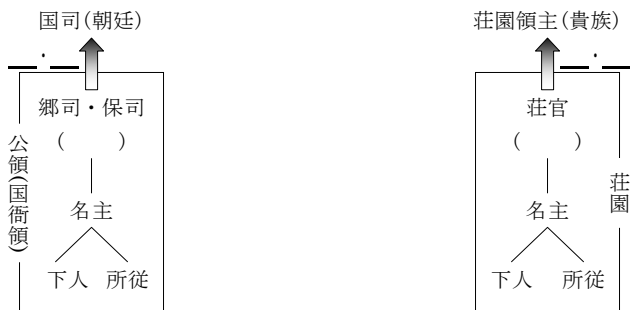
- ① _____ (平家没官領など将軍が所有する荘園)
② _____ (_____) (将軍の知行国)
③ _____ (幕府が御家人に課す臨時的公共事業費)

_____ (各国の有力御家人を任命) ★初期は _____ と呼ばれた
任務 = _____ (_____)

給与 = 段 (反) 別 _____ 升の _____ (1185)

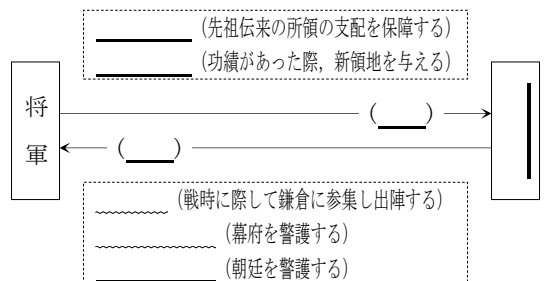
_____ (幕府と主従関係を結んだ御家人) ★初期は _____ と呼ばれた
任務 = _____ や _____ (_____) を管理
→ 年貢徴収・納入と治安維持

図解NOTE① [公武二元支配]



★ _____ ... 地頭は国司(朝廷)や荘園領主に年貢などを納める一方、幕府と主従関係を結ぶことで公武の二元的支配を受けるようになった。

図解NOTE② [_____ (土地給与を通じた主従関係)]



- 123 -

[A] 執権政治

政 治 ・ 争 乱

年 _____ (執権の補佐→叔父の _____ を任命) } 執権・連署・評定衆による合議制
 年 _____ (重要政務や裁判の評議・裁定) } → _____ (幕府の最高決裁会議)
 1226 年 _____ () 将軍 _____ [関白] の子の _____ が 4 代将軍に就任
 年 _____ () = カ条

趣旨=①右大将家 () 以来の _____ ・武家社会の _____ (慣習) に基づく 日本最初の武家法

②武家社会 (御家人) にのみ適用

→公領 (朝廷の支配下) では _____ ・荘園 (荘園領主の支配下) では _____ が効用

③追加法は _____ (御成敗式目制定後に必要に応じて発布された武家法の法令)

★北条泰時が弟の _____ [六波羅探題] に消息文を送る (in 『 _____ 』)

内容=①守護の職務を _____ のみに限定 (夜討・強盗・山賊・海賊の取締り権を追加)

②地頭の荘園侵略 (年貢横領) を禁止

③ _____ (土地占有が _____ 年経過するとその所有権を認める)

④女人養子 (実子のいない女子は養子に所領を譲与できる)

⑤ _____ (いったん譲与した所領でも、親は子の不孝な行為で取り戻せる)

1246 年 _____ (謀反事件に関連したとして、北条時頼により _____ が京都に追放される)

年 _____ (有力御家人の _____ を減らす)

年 _____ (評定衆の補佐・裁判の公平・迅速を図る)

1252 年 _____ (_____ に代えて, _____ (_____ 天皇皇子) を将軍に迎える)

_____ [モンゴル帝国 (13 世紀初期に _____ がモンゴル統一)] _____

① _____ →都を _____ (現在の ...) に遷都し, 国号を _____ と称す (_____ 年)

② _____ を服属させる (元への服属を拒否し, _____ (特別編成された精鋭軍団) が抵抗)

③蒙古牒状 (1268) (日本に朝貢を何度も要求するが、時宗は無視&拒否)



年 _____ (_____ ①) (元・ _____ 軍が _____ に上陸)

元軍の集団戦法や「 _____ 」などの火器に苦戦→暴風雨(?)のため退却

_____ [対岸防備 (蒙古襲来に備える)] _____

① _____ (_____) (博多湾沿岸に築いた防塁) を設置

② _____ (九州地方の御家人に命じた番役) を制度化

③ _____ (中国地方の御家人に命じた番役) を命令

→ _____ (北条氏一族から任命) 設置

1279 年 元が _____ を減ぼす (文永の役後)

年 _____ (_____ ②) (_____ 軍 (元・高麗軍) ・ _____ 軍 (旧南宋軍) が _____ に襲来)

石塁や日本軍の激しい抵抗で上陸を阻まれる→暴風雨にあい壊滅

_____ [元寇の結果 (元寇の結果、北条氏の権力は拡大)] _____

①神国思想 (日本は神が守っているという思想)

② _____ の動員権 (_____ (荘園領主が完全に支配している土地) の動員権を得る)

③北条氏による _____ カ国に及ぶ守護職の独占

④ _____ (博多に設置した九州地域の統治機関) の設置 (1293)

図解 NOTE [地頭の荘園侵略]

①承久の乱後、新補地頭が西国へ進出
→幕府支配の拡大や幕府の地頭任免権を
背景に荘園領主への年貢滞納者が多発

②後白河法皇が守護・地頭の任免権を幕府に
認めているため朝廷は地頭を罷免できない

③地頭と荘園領主などの間で訴訟激増

but _____ ・ _____ は地域によって異なる

④明確な全国的裁判基準の必要から

_____ (_____) (_____ 年) を制定

★ _____ (1231) による混乱も背景

⑤室町幕府の法令、戦国大名の分国法

江戸幕府の武家諸法度に影響を与える

[_____] (地頭の荘園侵略への解決法①)

荘園領主が荘園の管理を全面的に地頭に委ね、

その代わりに一定額の税の納入を請け負わせる

[_____] (地頭の荘園侵略への解決法②)

荘園領主 (領家) と地頭で

荘園を折半して分割支配

① _____ 中分

→荘園領主と地頭の和解

ex. _____ 国 _____ 荘

② _____ 中分

→幕府が強制的に裁決

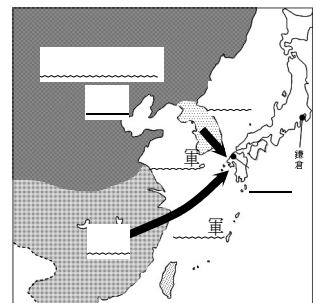
[地頭の非法の例]

_____ 年 _____ 国 _____ 民の訴状

_____ の非道を荘園領主に訴える

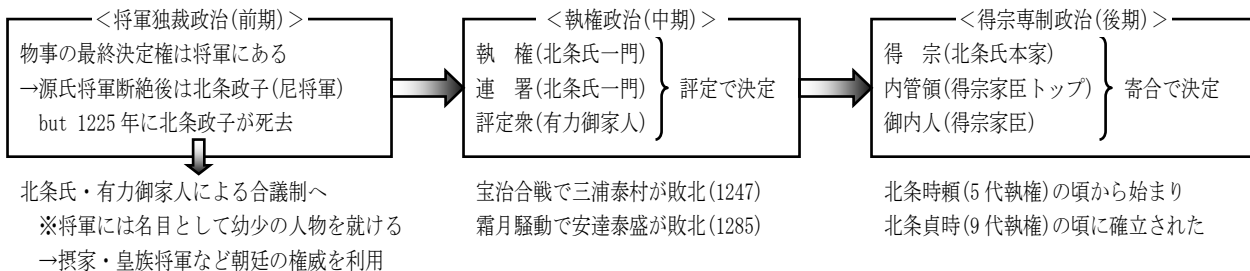


[_____ (_____ 国の御家人)] in 『 _____ 』



[B] 得宗専制政治と鎌倉幕府の滅亡

幕府の動向	朝廷の動向
年 (安達泰盛の乱) (← 年に北条時宗が死去) VS (北条貞時の外戚にあたる有力御家人) → <u>得宗専制政治</u> (得宗私邸での政治を決裁) の確立 = (北条氏嫡流の当主) ・ (得宗の家臣) ・ (御内人首座) 1293 年 (が北条貞時に滅ぼされる) [御家人の窮乏] ① 分割相続による所領の細分化 ② 貨幣経済の浸透 (日宋貿易による宋銭の輸入が背景) → 御家人の窮乏 ③ 元寇の恩賞不十分 (所領の質入れ・売却) 年 (北条貞時が発令した最初の徳政令) ① 御家人が既に売却した所領の返還 (1) 御家人から御家人へ所領売却の場合 → → → → 売却後 年未満なら無償返還 (2) 御家人から → へ所領売却の場合 → 年限を限らず無償返還 ② 御家人所領の売却・質入れ禁止 ③ (敗訴者の再審請求) の禁止 ④ 金銭訴訟は受理しない	(上皇) (天皇の子) (幕府の要請を受け、補佐機関の を設置して院政を再開 (院政は形式的には江戸時代まで継続)) 天皇 上皇 (を継承) (を継承) 大覚寺統と持明院統の両統が交代で皇位につくという幕府の示した原則 幕府に皇位決定権あり → 幕府を巻き込み対立激化
[倒幕の活発化] ① (得宗) ・ (内管領) の専制政治 (無能政治) ② 畿内の (荘園領主・幕府に反抗する地頭や名主) ③ 天皇 (統) の即位 (宋学 (朱子学) の の影響を受ける) → (天皇自らが政治を行うため、上皇 (後醍醐天皇の父) の院政を停止) → 政務機関として を再興 (1321) ↓ (後醍醐天皇による倒幕計画) 年 (後醍醐天皇が ・ らと倒幕を計画するが幕府に露頭) → 日野資朝を佐渡に配流 (後醍醐天皇と日野俊基は処分免除) 年 (再び露頭したため後醍醐天皇は、山に逃れるが、捕えられる) → 後醍醐天皇を へ配流 (→ 幕府は 天皇 (統) を即位させる) [反幕府勢力の挙兵] (国の悪党 → 河内の赤坂城や金剛山の千早城で応戦) (後醍醐天皇の皇子 → 吉野で挙兵し、諸国に令旨を発給) (播磨国の豪族 → 護良親王の令旨に応じて播磨で挙兵) 1333 年 (国の豪族) の援助で後醍醐天皇が隠岐を脱出 ↓ 国船上山で挙兵 → 幕府は足利尊氏を総大将として京都へ派遣するが、尊氏が寝返り 年 鎌倉幕府滅亡 (北条高時が自刃) ★最後の執権は [16代執権] (元弘3年) [有力御家人] → 六波羅探題を攻略 [国の豪族] → 鎌倉を攻略	1317 年 (両統への幕府の提議) ↓ 在位年数10年での皇位交替を決定 1318 年 天皇 (持明院統) が譲位 → 天皇 (統) 即位 [五摂家 (藤原氏分立)] 時政 時房 重時



[A] 建武の新政(建武の中興)

- 1334 年～ () の復活→幕府・摂関・院政を否定)
- () (天皇の治世) を模範
 - (天皇の意思を伝える文書) を絶対万能とする
(土地の所有権の確認は論旨が唯一の根拠)
 - 大内裏の造営計画 (造営費のため造幣・新税を計画)
 - の発行計画 (新貨幣・新紙幣の発行を計画)

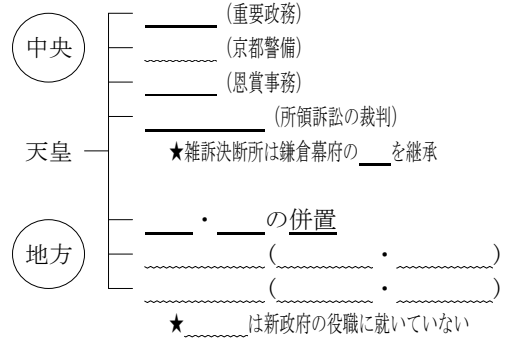
〔新政の混乱〕

- 武士の不満 (武家社会の慣習を無視 (御成敗式目の などを否定)
(恩賞の不公平・大内裏造営費として二十分の一の税の負担)
- 公家の不満 (公家社会の慣習を否定 (家柄の無視・恣意的な官職の任免))
- 農民の不満 (大内裏の造営計画などにより農民の負担が増大したため)
ex. 国 荘 () 領) が提出した申状

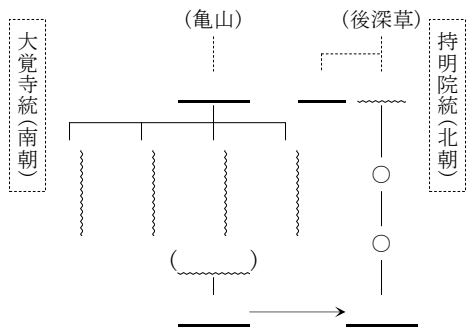
建武の新政

- 年 (新政への風刺) in 『 』
- 年 (北条高時の子) が で挙兵し、鎌倉を一時占拠
鎌倉将軍府が占拠された混乱に乗じて、 が幽閉中の 親王を殺害
→足利尊氏が反乱を鎮圧して鎌倉を奪回した後、建武政権に反旗をひるがえす
- 年の戦い (摂津国) (が戦死)
→入京した足利尊氏は 天皇 [統] を擁立 (北朝)
→その後、 天皇 [統] は へ逃れる (南朝)
★光明天皇に偽の を譲渡→以後、約 年間近く南北朝の動乱が続く

〔建武の新政の職制〕



図解NOTE〔天皇家系図〕



南北朝の動乱

〔北朝= 天皇 [統] in 京都(山城国)〕
『 』 (北朝の正統性を示す)
★作者不詳→尊氏側近の武将によって執筆されたものか?

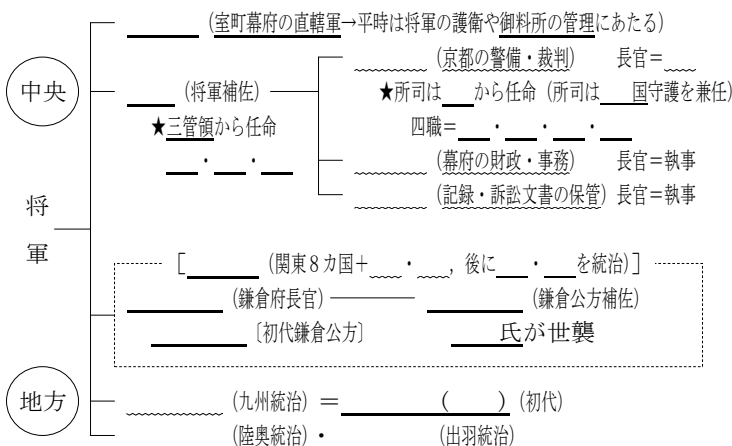
VS

〔南朝= 天皇 [統] in (大和国)〕
『 』 (南朝の正統性を示す)
★奥州・東国で南朝勢力の維持・拡充に努める→ 国の 城で執筆

- 年 (が定めた カ条の当面の政治方針)
の諮問に らが答申する形式
- 幕府の所在地の選定 (におくか に移すか)
 - 政道の事 (1) 倭約を行い (派手な行動) を禁止
(2) 守護には戦功よりも能力を重んじて任命
- ★基本法令= . 追加法令=
- 年 が に就任

- 1338 年の戦い (和泉国) (が戦死)
- 1338 年の戦い (越前国) (が戦死)
★後醍醐天皇が死去 (1339) → 天皇 (義良親王) が即位
- 1348 年の戦い (河内国) (が戦死)
★北朝側の高師直が吉野を焼き打ち→南朝側は賀名生へ逃れる

室町幕府の機構 (の頃に整う)



直轄領	(幕府の直轄する荘園) 年貢・公事・夫役を徴収
商工業者	(土倉から徴収)
政所が徴収	(酒屋から徴収)
庶民	(田地1段ごとに課した臨時税)
守護が徴収	(家屋1棟ごとに課した臨時税)
関・津	(関所での通行税)
	(港での入港税)
貿易	(日明貿易の際の輸入税として 貿易商から利益の1/10を徴収)
その他	(幕府に納入する債権・債務 額の1/5 or 1/10の手数料)

図解NOTE①【守護大名の成長】

守護大名 (幕政参加のため在京)
→ 複数国の守護を兼任する者も

国 (守護代)

荘園 地頭 国人

他人の稲を刈り取る

公領 地頭 国人

(所領紛争)

図解NOTE②【半済令・守護請】

荘園領主 (貴族・寺社)

② 荘園の経営を一任 = 守護請

④ 一定額の税を納入

① 年貢 滞納

半済令

年貢の半分を守護が徴収

守護

③ 代わりに年貢徴収

国人 荘園

観応の半済令 (1352) … 年貢の半分 (半済) を徴収 (あくまでも米)
 応安の半済令 (1368) … 土地そのものの半分を守護の領地とする
 → 半済令と守護請により国内は守護の領国化される (守護領国制)
 but 皇室・寺社・摂関家の荘園に介入することは禁じられた
 ため (守護使不入), 守護大名は領国の一円知行化はできず

[A] 日明貿易

日 明 貿 易	
日 元 貿 易	— [日 元 貿 易 (元とは正式な国交はなかったが、民間商船の往来による私貿易)] — 1323 年 _____ 沈船 (_____ 再建の費用調達のため派遣→1976年に韓国で沈没船発見) _____ 年 _____ が _____ を 元 に 派 遣 火災により焼失した建長寺修復の費用調達のために派遣 1342 年 _____ が _____ を 元 に 派 遣 (_____ の 建 議) _____ 天皇の冥福を祈るための天竜寺建立の費用調達の一環として派遣
明 の 建 国	_____ 年 _____ (太祖 _____) が元を倒し明を建国 (首都=のち _____) ① _____ (明と周辺諸国は宗主国と属国の主従関係) の再構築 → 周辺諸国に朝貢貿易をうながす ② _____ (中国民間人の海外渡航や民間貿易を禁じる) → 明の冊封を受けた朝貢国のみ貿易を認める
日 明 貿 易 の 交 渉	1369 年 明が _____ に朝貢と _____ 禁圧を要求 初め拒絶するが、のちに臣従し「日本国王」の称号を与えられる (1371) → 北朝側は九州探題に任命した今川貞世(了俊)を派遣し、大宰府を制圧 (1372) ★応永の乱 (1399) で大内義弘が滅ぼされる→大内氏から幕府が貿易の実権を掌握 _____ 年 _____ (日本准三后) が明 (_____ → のち永楽帝) に国書を送る 正使 = _____ (義満側近の僧) ・ 副使 = _____ (博多商人) in 『 _____ 』 (_____ が編纂した中国・朝鮮との外交史書) 1402 年 明が「 _____ 」宛の返書・ _____ を義満に送る 1403 年 義満が「 _____ 」と署名して再度国書を明に送る → 明が _____ を交付 (1403) _____ [日明貿易 (_____)] — ① 明皇帝が交付する _____ (倭寇と区別するための渡航証明書) を使用 ② _____ で査証・ _____ で交易する朝貢貿易 (日本国王が明皇帝に朝貢)
日 明 貿 易 の 展 開	_____ 年 勘合貿易開始 = _____ (朝貢形式により明に臣下の礼をとる) _____ 年 勘合貿易中断 = _____ (朝貢形式を屈辱的として拒絶) _____ 年 勘合貿易再開 = _____ (貿易の利益を考慮し再開) → _____ 条約 (_____ 条約) (幕府と明との間で結ばれた条約) 貿易は 10 年に 1 回、船は 3 隻、乗組員は 1 隻 300 人に限定される ★応仁の乱後、幕府の権威が失墜するとともに貿易の実権は有力守護大名に移る → _____ 氏 (博多商人との結びつき) VS _____ 氏 (堺商人との結びつき) _____ 年 _____ (_____ と _____ の貿易の主導権をめぐる寧波での衝突) → 乱後は _____ 氏が貿易を独占 (実質最後の遣明使船は 1547 年) _____ 年 大寧寺の変 (_____ が家臣 _____ の謀反で自害→大内氏滅亡で日明貿易断絶) 1555 年 厳島の戦い (_____ が _____ を滅ぼす) ★のち _____ 氏も滅ぼし中国地方を統一
輸 出 入 品	輸出品 = _____ (銅銭の原料) ・ _____ (黒色火薬の原料) ・ _____ 輸入品 = _____ ・ 明銭 (_____ ・ _____ (最も広く流通した銅銭) ・ _____) ★ _____ (生糸は最も利益が多いと説いた天竺人の父と日本人の母をもつ混血の商人)

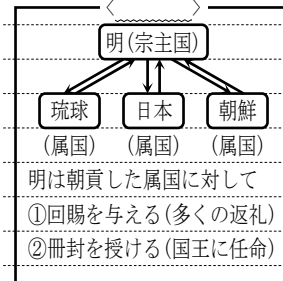
図解 NOTE ① [冊封体制]

元=他民族(モンゴル民族)による国家

明=漢民族(中国の主要民族)による国家

→ 中華思想(中国を中心とする優越思想)を持つ

→ _____ (中国を中心とする国際秩序)を再興



_____ (中国・朝鮮沿岸で食糧や人を略奪した海賊)

→ _____ ・ _____ ・ _____ を拠点

前期倭寇=日本人中心

後期倭寇=中国人・日本人・ポルトガル人

→ 倭寇は豊臣秀吉の _____ (_____ 年) で衰退



[_____ の様子 (日本人の格好をした中国人)]

図解 NOTE ② [勘合]

① _____ = 倭寇と区別するための渡航証明書

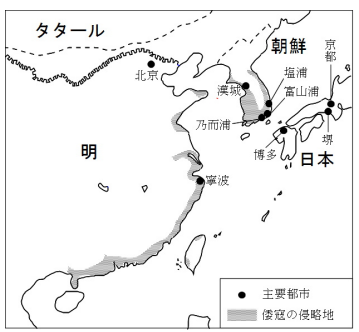
→ 明の皇帝が日本国王に交付する

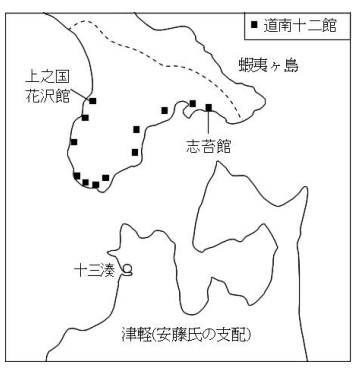
② 日本船(遣明船)は _____ を持参して _____ に入港

→ 明の所有する _____ と照合して査証を受ける

③ その後、首都の _____ に赴いて交易にあたる

★ _____ もあるが、日字勘合は明から日本に
来航する場合に使用するもので、一度も使用されなかった

	日 朝 貿 易	そ の 他
貿易の開始	_____年 _____が _____を倒し李氏朝鮮を建国(首都=_____) →日本に倭寇禁圧を要求 1404年 日朝貿易開始(_____が応じ、対等な国交が結ばれる) ★日朝貿易は幕府だけでなく西国の守護大名や商人も参加→ _____島主の _____氏に統制させる (1) _____[8代当主]が貿易の統制・倭寇の取締りに尽力するが1418年に死去 (2) 後を継いだ _____[9代当主]が若年であったため統制できず、倭寇の活動が活発化	
貿易の展開	_____年 _____(朝鮮が倭寇の根拠地とみなしていた対馬を襲撃→ _____が応戦) ← 1420年 朝鮮から _____(室町幕府への回礼使→『 _____』を著す) が来日 日朝貿易は一時中断するが、のち宗貞盛[対馬島主]の統制が確立したことで貿易再開(1423) _____年 _____条約(_____)(朝鮮と宗氏との間で結ばれた条約) ①貿易船の数を制限(宗氏の船=年 _____隻・他氏の船=年 1~2隻) ②貿易港を三浦(_____・ _____・ _____)のみに限定 →漢城と三浦にそれぞれ _____(日本人の接待・貿易施設)を設置 ③のち、 _____(朝鮮国王が日本国王などに贈った通交証)を用いた貿易に _____年 _____(三浦に住む日本人が特権縮小に反発し暴動)	
輸出入品	輸出品= _____・ _____・ _____(東南アジア産の染料に使う木) 輸入品= _____・ 高麗版 _____(仏教の経典を集成したもの) ★のち木綿は _____国を中心に国内で栽培されるようになる	

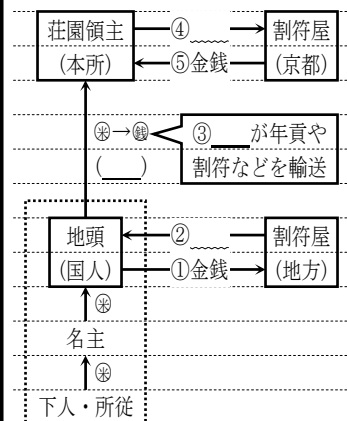
琉球(沖縄)	原始 旧石器時代… _____人(中国南部の _____人と似た特徴をもつ化石人骨) 貝塚時代… _____文化(_____文化)(農耕を行わない狩猟採集文化) 古代 奈良時代… _____が阿児奈波(沖縄)に漂着 in 『 _____』(_____) 中世 グスク時代… _____(各地に割拠した豪族)が _____(城)を建築 三山時代… _____・ _____・ _____の3勢力が対立	
	_____年 _____王の _____が三山を統一(第1尚氏王朝) →琉球王国を建国(王府を _____に置き、首里城を建設→首里城の正門= _____) _____ [_____(中国・朝鮮・日本・東南アジアの輸出入を中継する貿易形態)] _____ _____ (王府首里の外港)が貿易の拠点として繁栄(16世紀後半以降は衰退)	
	1470年 _____(→のち尚円と称す)によるクーデター(第2尚氏王朝) 『 _____』(琉球王府によって編集された琉球の古代歌謡集)の編纂開始	
蝦夷ヶ島(蝦夷)	原始 7世紀以前 _____(農耕を行わない狩猟採集文化で、縄文土器をともなう) ★稲作を行わない理由=寒冷で稲作に適さない・鮭や鱈など魚介類が豊富 古代 7世紀以降 _____(農耕は行わない狩猟採集文化で、擦文土器をともなう) ★ _____(オホーツク海沿岸で、オホーツク式土器をともなう) 中世 14世紀以降 _____南部に _____(_____氏[津軽の豪族]の支配下)進出 ①渡島半島南部に _____(和人の居住地)を建設 → _____(渡島半島南部にあった12の館の総称) ex. _____(珠洲焼・越前焼などの陶磁器や大量の古銭が出土) ②アイヌとの交易(昆布や鮭などの海産物を京都に運送) →拠点となった _____の繁栄	
	_____年 _____の戦い(和人の圧迫に耐えかねたアイヌの大首長コシヤマインが反発) → _____氏(安藤氏の支配下にあった _____花沢館主)の客将 _____が鎮圧(武田信広が蠣崎氏を継ぐ→江戸時代に _____氏と改称)	

	鎌倉時代	室町時代
栽培	_____ (米→ _____ [畿内・西日本に普及])	_____ (米→麦 [東日本(全国的)に普及]) _____ (米→麦→ _____ [畿内一部に普及]) in 『 _____ 』 (_____ [朝鮮使節])
肥料	_____ (草を刈って田に敷き込み腐敗させる) _____ (草木を燃いて灰にする)	_____ (人糞尿)
品種改良	_____ (中国から輸入された <u>多収穫米</u>)	_____ の普及 ★麦などの後作・災害対策として収穫時期をずらす
揚水機		_____ (中国から伝来した揚水機) _____ (川の流れを利用した揚水機)
耕作	_____ (水田耕作で牛・馬に _____ を引かせる) in 『 _____ 』 鉄製農具の普及 (鋤師が普及に貢献)	
手工業品の生産	_____ (農具・鍋などの鋳物を作る職人) → _____ (農具・鍋などの鋳物を作る職人) _____ (武器・刃物などの打ち物を作る職人) → _____ (武器・刃物などの打ち物を作る職人) _____ (大工→2人がかりで大板材を挽く _____ を使用) 鋳師 (鋳を作る職人)	
商品作物の栽培	_____ (灯油の原料) _____ (染料の原料) _____ 焼 (尾張) _____ (陶祖= _____ ?) _____ (和紙の原料) _____ (葉は蚕の食用) _____ (綿・晒の原料)	酒造業=摂津・河内・大和 製陶業=美濃・尾張・ _____ 焼 (近江) 製紙業=杉原紙 (播磨)・美濃紙 (美濃) 絹織物=加賀・丹後・西陣織 (山城) 麻織物=越後縮 (越後) 綿織物= _____ (朝鮮から輸入→ _____ 国で栽培)
	鎌倉時代	室町時代
定期市	_____ (月に3度開催された定期市) ex. _____ 国(_____ 県) _____ 市・ _____ 国 _____ 市 in 『 _____ 』 (_____)	_____ (月に6度開催された定期市)
商売	_____ (常設の小売店) 行商人の出現	_____ (_____) (常設の小売店が一般化) _____ (商品を連雀で背負った行商人) _____ (商品を天秤棒にさげた行商人) _____ (鮎・朝鮮鮎を売り歩く女性の行商人) _____ (炭・薪を売り歩く女性の行商人)
貨幣	宋銭 (日宋貿易で輸入した _____) → _____ ★鎌倉後期から年貢などの _____ (_____) 始まる	明銭 (日明貿易で輸入した _____) ex. _____ ・ _____ (最も流通) ・ _____ →貨幣の需要増大により粗悪な _____ の流通
運送業者	_____ (年貢や商品の保管・輸送) → _____ [_____] 遠隔地間の金銭輸送を _____ という 手形・小切手で代用する方法	_____ (商品の保管・売買にあたる卸売業者) [運送業者 (問屋の統制下)] 陸上= _____ (荷を馬の背に乗せる) _____ (荷を牛馬のひく車に乗せる) 海上= _____ (港を廻って商品を輸送する)
金融業者	_____ (鎌倉期の高利貸) → _____ _____ (高利貸) ・ _____ (土倉を兼ねる酒造業者) ★ _____ ・ _____ (農村で相互に融資しあう金融)	
同業組合	(平安末期に生まれ、鎌倉時代に確立) ★ _____ (天皇家に貢納・奉仕する職能民) _____ (神社に雑役を奉仕する下級神職)	_____ (商工業者の同業組合→室町時代に大規模化) → _____ (神社・貴族) による保護 ★ _____ は本所に _____ (納付税) を納める代わりに 関銭の免除や仕入れ・販売の独占の特権を獲得 ex. _____ 座 = _____ (本所) _____ 座 = _____ (本所) _____ 座 = _____ (本所)

図解NOTE① [諸産業]

- ①農業生産力の向上(集約化・多角化)
ex. 二毛作・三毛作・肥料の使用
- ②商品作物(原料作物)の栽培・
手工業品の生産など諸産業の発達
→手工業を専門にする職人の増加
- ③商品経済の発達
ex. 見世棚・定期市・座の発達
- ④中国銭(宋銭・明銭)の流入
- ⑤貨幣経済の浸透
ex. 金融業者・代銭納の開始
- ⑥遠隔地取引の活発化
ex. 行商人・運送業者・為替の使用

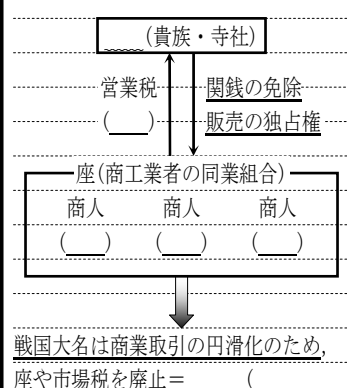
図解NOTE② [為替]



図解NOTE③ [撰銭令]

- ①輸入銭による貨幣経済の浸透
- ②貨幣の需要増大により貨幣不足
- ③取引の際、私鑄銭のような悪銭での受取りを拒否する行為(_____)が多発
- ④幕府や戦国大名が _____ を発布
 - (1) 極端な悪銭の使用を禁止
 - (2) 一部の悪銭の使用を認める
 - (3) 良銭と悪銭の交換比率を定める

図解NOTE④ [座]



[B] 惣村の形成(室町時代)

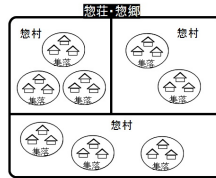
惣村の形成

- ____(____)(荘園や公領内部に生まれた畿内の農民達が地縁的に結びついた自治的な村)
- ★____・____(荘園・公領内の複数の惣村が広範囲に結びついた大きな共同組織)
- ①____.....惣村を構成する村民一同
- ②____(____・____)・____.....惣村の指導者(主に名主層のもの)
- ★____(____が____・下作人から徴収する小作料)を徴収して地主化
→____(大名と主従関係を結び、侍身分を獲得した有力農民)となる者が多い
- ③____.....有力名主を中心とした自治的協議機関
- ④____(____・____).....惣村内で守るべき規約
- ★____(山林などの共同利用地)・____(用水の管理・配分)について定める
- ⑤____(____).....村民が警察権を行使(違反者へ制裁)
- ⑥____(____・____).....惣村でまとめて年貢納入を請け負う

「一揆の形成」

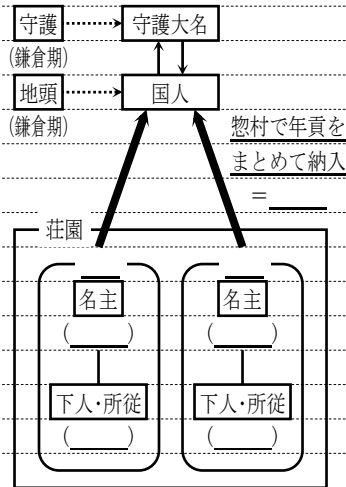
- ①____(神社の氏子組織・農民の祭祀集団)を中心に神社に集まる
- ↓
- 「____(一味同心を図るために用いられた作法)」.....
神仏に誓約した____に署名し、それを焼いて水に混ぜ、全員で回し飲む
- ↓
- ②____(____という連帯意識を持った人々の集団)の結成
→____(荘園・公領を単位とする荘園領主に対する一揆)
- (1)____(年貢減免などを____にして荘園領主に提出)
- (2)____(荘園領主に年貢減免などを要求し集団で押しかける)
- (3)____(一時的に集団で土地から退去し、山林などに逃げ込む)
- ★荘園・公領の枠(領主の違い)を越えて周辺の惣村が広く結合
- ③____(惣村を基盤に____・____など高利貸業者を____(一般庶民)が襲撃)
質物や貸借証文を奪い、実力で債務を破棄・売却地を取り戻す(____)
→のち、債権・債務破棄のため、幕府に徳政令の発布を求める(徳政一揆)
- ★背景=農村への貨幣経済の浸透(土倉・酒屋から借金・土地の質入れ)

図解NOTE [惣村]



支配単位である荘園・郷の内部には複数の惣村が存在し、さらに一つの惣村は複数の集落によって構成されていた

- ①農業生産力の向上(有力農民・小農民の成長)
- ②戦乱の多発に対する自衛(南北朝の動乱など)
- ③荘園制の崩壊が進展(地頭・守護の荘園侵略などが背景)
→荘園領主(貴族・寺社など)の支配が無効化
- ④農民が地縁的に結びついた自治的な村(____)



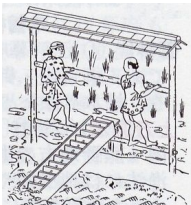
[牛耕(____を引く牛) in 『____』]



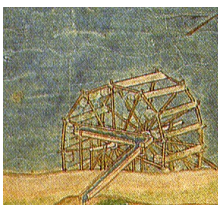
[____・____・鎧師 in 『____』]



[見世棚(店棚)]



[____]



[水車]



[____ in 『____』]



[____]



[____]



[大原女]



[桂女]



[永楽通宝]



[私鑄銭①]



[私鑄銭②]

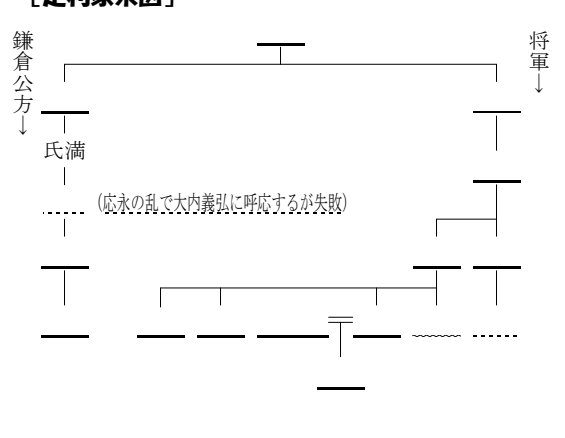


[馬借]



[____]

〔A〕室町幕府の動揺

幕府の動向		土一揆・国一揆・一向一揆																
年 _____ (_____ (前関東管領) の反乱) → _____ [4代鎌倉公方] が鎮圧		年 _____ (足利義持→ _____ の將軍代替わりが契機) _____ の _____ (運送業者) の蜂起を契機に畿内一帯に波及 _____ が _____・ _____・寺院 (_____ の貸付が原因) などを襲撃 → _____ [管領] が鎮圧 in 『 _____ 』 by _____ (_____ の僧で一条兼良の子) ★徳政令の例 (一揆の勢力が盛んだった地域では例外的に発布) = _____ in _____ 国 (大和国守護= _____)																
年 足利義持の死去 (→次期將軍をくじ引きで決定) → ★嫡子の _____ が早世したため、弟の義円 [_____] が還俗 _____ が就任 (くじ引き將軍・還俗將軍と呼ばれる) →★「万人恐怖」の將軍専制政治 (將軍への権力集中をはかる)																		
年 _____ (_____ [4代鎌倉公方] の反乱) → _____ [_____]・幕府軍が鎮圧 (1439) ★上杉憲実= _____ (下野国) を再興 (1439)		年 _____ (赤松氏の家臣国外追放という政治的要求) → _____ [_____ 国守護] が鎮圧																
年 _____ (下総の _____ が足利持氏の遺児を擁して挙兵)		① _____ …… _____ (一般庶民) による主に徳政令発布を求めた一揆 ② _____ …… _____ による一揆 (_____ に参加者の皆対等を署名) ③ _____ …… _____ を中心に地侍・ _____ (一般庶民) も参加した一揆																
年 _____ (義教の守護大名抑圧策に対する危機感が背景) → → _____ [_____ 国の守護] が _____ を殺害 → _____ (_____) ら幕府軍が鎮圧		年 _____ (_____ → _____ の將軍代替わりが契機) 「代始めの徳政」を要求→幕府が初めて徳政令を発布 →山城国に一国平均 (のち全国一律) の徳政令が出される																
		★ _____ (債務・債権額の5分の1or10分の1) を幕府に納入すると 債務者には債務の破棄を認め、債権者には徳政の適用から免除する																
★ _____ の飢饉 (京都で8万人が餓死した最大の飢饉) (1459~60) 年~ _____ (_____ 年まで _____ 年間続く) in 『 _____ 』 將軍家の継嗣問題と管領家 (_____ 氏・ _____ 氏) の家督争いに、 _____・ _____ がそれぞれ支援したため対立が激化		〔足利家系図〕 																
<table><tr><th>西軍 (11万人)</th><th></th><th>東軍 (16万人)</th></tr><tr><td>_____ (_____)</td><td>総大将</td><td>_____ (義政の弟)</td></tr><tr><td>_____ (義政の子)</td><td>足利家</td><td>_____ (持国の養子)</td></tr><tr><td>_____ (持国の子)</td><td>畠山家</td><td>_____ (義健の養子)</td></tr><tr><td>_____ (義健の養子)</td><td>斯波家</td><td></td></tr></table>  _____ (軽装の雑兵) in 『 _____ 』 ★ _____ 「 _____ は超過した悪党」 in 『 _____ 』 (_____ への意見書)	西軍 (11万人)		東軍 (16万人)	_____ (_____)	総大将	_____ (義政の弟)	_____ (義政の子)	足利家	_____ (持国の養子)	_____ (持国の子)	畠山家	_____ (義健の養子)	_____ (義健の養子)	斯波家				
西軍 (11万人)		東軍 (16万人)																
_____ (_____)	総大将	_____ (義政の弟)																
_____ (義政の子)	足利家	_____ (持国の養子)																
_____ (持国の子)	畠山家	_____ (義健の養子)																
_____ (義健の養子)	斯波家																	
年 和議成立 (山名持豊・細川勝元の死去(1473)が背景) → 影響=①京都の荒廃→文化人の地方移住 (文化の地方伝播) ↓ ex. _____ 「小京都」と呼ばれた大内義隆の城下町) ②荘園制の解体が進展 (公家勢力の権威が失墜) ③將軍の権威の失墜・守護大名の勢力衰退 ↓ →守護在京制による幕府の政治体制が崩壊 ④ _____・ _____ に領国の実権が移る (_____ の風潮)		年 _____ (南山城の国人・土民を中心とする一揆) _____ 後も対立を続けた _____・ _____ 軍を国外に退去させる →寺社本所領の還付・ _____ の撤去・ _____ を _____ の寄合で制定 ★36人の _____ が _____ 年間の自治 (1493年に内部対立で解体) in 『 _____ 』 by _____ ら (_____ の僧で一条兼良の子)																
		年 _____ (加賀国の浄土真宗門徒による一揆) 守護の _____ を滅ぼす→名目上の守護に _____ をたてる ★「百姓の持ちたる国」(百姓が約 _____ 年間の自治)																
1493年 _____ (_____ [管領] が _____ (_____) を廃して _____ (堀越公方政知の子) を將軍に擁立)		④ _____ …… _____ 宗 (_____ 宗) の信者による一揆 (本願寺派中心) ⑤ _____ …… _____ 宗 (_____ 宗) の信者による一揆 (京都の _____ 中心)																

[B] 戦国時代

① 応仁の乱後に守護大名の多くは没落

★例外 = 氏・氏・氏・氏・氏・氏・氏

② 〃の台頭 (守護大名から転身した場合もある)

→ 〃へ成長 (実力で領国支配を強化し、領国の一円支配を確立)

氏 [守護] の領国 → 越前 = 氏・尾張 = 氏

氏 [守護] の領国 → 北近江 = 氏・出雲 = 氏

〔 〃 (下の者が上の者をしのぐ風潮) の世 〕

頼芸 [守護] → 〃 (土岐氏家臣) → 斎藤義龍 (道三の嫡子)

〃 [守護] → 〃 (大内氏家臣) → 〃 (安芸の国人)

〔管領〕 → 〃 (細川氏家臣) → 〃 (三好氏家臣)

③ 〃の形成 (国人・地侍を家臣団に組み入れる)

→ 〃 (上級家臣を寄親・下級家臣を寄子とする仮の親子関係)

④ 〃 (家臣の収入額を金に換算して把握→戦国大名の軍役賦課の基準となる)

家臣の所領支配を保障する代わりに、真高に見合った軍役を家臣に負担させる

⑤ 〃 (家臣・農民に面積・収入額を自己申告させ、検地帳に登録する)

⑥ 〃・家訓 (分国支配の基本法) の規定

(1) 〃 (家臣間の私闘を禁止し、大名が全て裁判する)

(2) 私婚の禁止 (家臣の婚姻は大名の許可制)

(3) 〃 (犯罪者の親族や関係者の連帯処罰)

(4) 家臣の城下町集住 ex. 〃氏の

⑦ 〃 (大名の居城を中心に発達した町) の発展

(1) 〃 (商品取引の円滑化をはかるため) を廃止

(2) 撤廃 (通行料として関銭を徴収するために置かれた関所を廃止)

(3) 〃制度 (城下町と支城を結ぶ主要な街道に宿駅・伝馬を設ける)

↓ (城下町の形成)

〃 (北条氏)・〃 (上杉氏)・〃 (朝倉氏)・〃 (大内氏)

〃 (武田氏)・〃 (今川氏)・〃 (大友氏)・〃 (島津氏)

図解NOTE① [戦国大名の分国支配]

戦国大名
収入額に見合った軍役(兵力)を負担
家臣の所領支配を保障し、
家臣の収入額を金で把握 = 〃

↑ ④

名主 (〃)

↑ ⑤

下人・所従

<家臣団を統制するため 〃 を制定>

① 〃 → 国人(家臣)同士の紛争を自分たちの実力(私闘)で

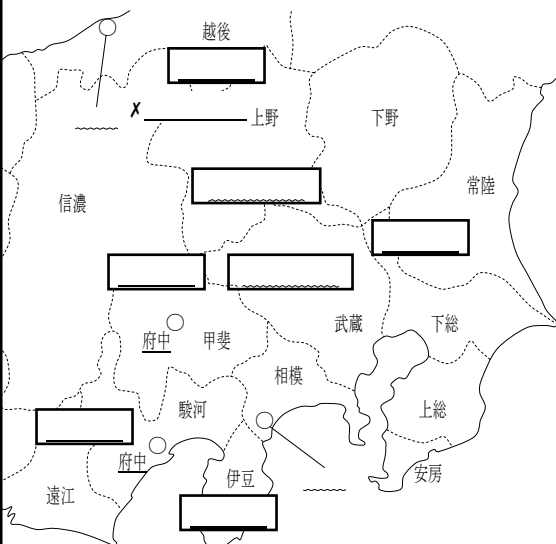
解決する自力救済を否定→大名に裁判権を一元化

② 家臣の城下町集住 → (1) 家臣を在地から切り離し、謀反を防止

(2) 戦時における軍事動員を迅速にする

分 国 法	氏(陸奥) 『 〃 』 (〃)
	★分国法中最大の条数(171カ条)・『御成敗式目』の影響が大きい
	氏(下総) 『 〃 (〃) 』 (結城政勝)
	氏(甲斐) 『 〃 (〃) 』 (〃)
家 訓	★ 〃 (信玄が釜無川と御勅使川の合流点に築いた堤防)
	氏(駿河) 『 〃 』 (〃)
	★ 〃 の『 〃 』と、 〃 の『 〃 』から成る
	氏(南近江) 『 〃 (〃) 』 (六角義治)
家 訓	氏(阿波) 『 〃 』
	氏(土佐) 『 〃 (〃) 』
	氏(周防) 『 〃 (〃) 』
	氏(肥後) 『 〃 (〃) 』
家 訓	氏(伊豆) 『 〃 』 (〃)
	★子の 〃 ・孫の 〃 の代には関東の大半を支配
	氏(越前) 『 〃 (〃) 』
	★分国法中最も条数が少ない(17カ条)

図解NOTE② [関東の争乱]



<鎌倉公方の分裂>

① 永享の乱後、関東管領の上杉氏が鎌倉府の実権を握る

→ 〃 (〃 年) (〃 [5代鎌倉公方] が 〃 [関東管領] を殺害

② 〃 [8代将軍] は兄弟の 〃 を関東へ派遣

★成氏は対抗するため下総の古河へ入る→政知は関東に入れず伊豆の堀越にとどまる

③ 鎌倉公方の分裂 → 〃 (〃 国) = 〃 (足利持氏の子)

→ 〃 (〃 国) = 〃 (足利義政の兄弟)

④ 関東管領の対立 → 〃 氏・ 〃 氏

<後北条氏の台頭>

① 〃 (〃) (もと 〃 氏家臣→のち 〃 と名乗る = 〃 の祖)

〃 の 〃 (政知の子) を滅ぼして 〃 を奪取

→ のち相模を制圧して、 〃 (相模国) を本拠とする

② 〃 (早雲の子→初めて北条氏を称する)

③ 〃 (氏綱の子→北条氏の全盛期を築く)

〃 氏・ 〃 氏を滅ぼし、 〃 氏も圧迫

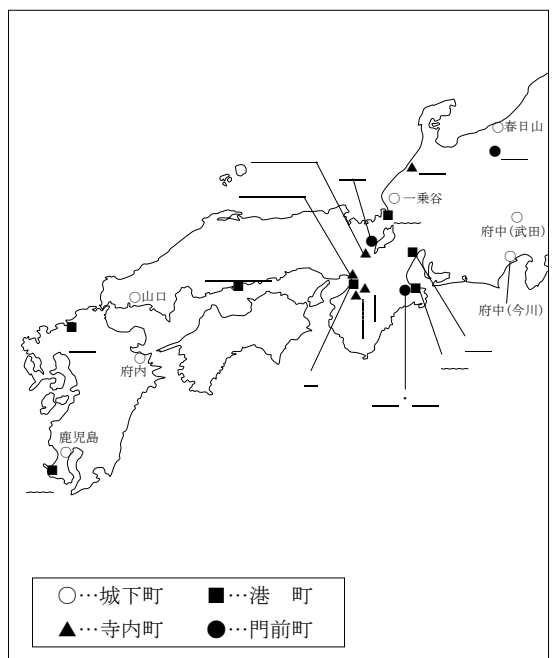
→ 山内上杉憲政は越後の 〃 (のち 〃) を頼る

④ 〃 (氏康の子→1590年に豊田秀吉に滅ぼされる = 〃)

〔A〕ヨーロッパ人の来航

南 蛮 貿 易	キ リ ス ト 教 の 伝 来
_____〔_____ (15~17世紀前半) _____ _____ (イタリア人) ……西インド諸島 (アメリカ大陸) を発見 _____ (ポルトガル人) ……喜望峯廻りのインド航路を発見 _____ (ポルトガル人) ……太平洋を航行し世界周航 ↓ (のち、以下の都市を東方貿易の貿易拠点とする) _____ = _____ (インド) ・ _____ (中国) _____ (_____) = _____ (フィリピン) 年 _____ 人 を乗せた中国船が _____ (_____ 国) 漂着 → _____ (島主) が鉄砲を2挺購入 (鉄砲伝来) ↓ in 『 _____ 』 (_____) _____ [鉄砲伝来による変化] ①鉄砲の国内生産 (国産化) _____ (和泉) ・ _____ ・ _____ (紀伊) ・ _____ (近江) ②戦術の変化 騎馬戦 → _____ による集団戦法 ③築城法の変化 _____ (山) → _____ (丘) → _____ (平野) 年 _____ (_____) 人 が _____ (肥前国) に来航 〔 _____ 貿易 (ポルトガル人・イスパニア人との貿易→ポルトガル有利) 〕 ①主要貿易港 (各大名の城下町) _____ ・ _____ ・ _____ (島津氏) (松浦氏) (大村氏) (太友氏) ②輸出入品 (日本と中国・南方との中継貿易の形態をとる) 輸出品 = _____ ・ _____ ・ _____ 輸入品 = 中国産 _____ ・ _____ ・ _____ (原料は硝石) ★鉄砲は国産化されたが、硝石の国内採取は不可能なため輸入に依存	_____ 年 _____ が _____ (_____ の城下町) に到着 ★ザビエル (スペイン人) は _____ (_____) の宣教師 → _____ (肥前・周防) ・ _____ (豊後) の保護を得て布教 _____ [ザビエル後の宣教師] _____ の状況を『 _____ 』で本国に報告 _____ 『 _____ 』 (イエズス会の活動歴史書) を著す _____ 京都に _____ (キリスト教の教会堂) を建立 _____ 安土にセミナリオ (神学校) を設立 _____ 天正遣欧使節を勧め、活字印刷機の輸入に尽力 _____ → _____ (_____) (_____ による出版物) _____ (神学校) ・ _____ (宣教師養成施設) の設立を指令 _____ [_____ (キリスト教に入信し洗礼を受けた大名) _____ _____ (洗礼名=フランシスコ) _____ (洗礼名=バルトロメオ) → _____ を _____ に寄進 (1580) _____ (洗礼名=ジョン=プロタジオ) ↓ ★その他の大名 = _____ ・ _____ ・ 細川忠興 ・ _____ _____ 年 _____ (_____ の勧めで3大名が派遣) 正使 = _____ ・ _____ 副使 = _____ ・ _____ ★ローマ教皇 _____ に会い、 _____ 年に帰国 ★博多商人の _____ (神屋宗湛の曾祖父) が朝鮮から伝えた「 _____ 」 という金・銀の精錬技術により、 _____ 国の _____ 銀山・ _____ 国の _____ 銀山や、 _____ 国・ _____ 国の金山など、戦国時代から特に銀の採掘量が飛躍的に高まる

港 町 陸海交通の要地・ 貿易や商業地に発達 ↓	_____ (越前) = 古代に _____ が置かれていた _____ (伊勢) = 伊勢神宮の外港として栄える _____ (伊勢) = 伊勢湾に位置する水陸交通の要地 _____ (京都) = 西国から送られる京都の外港として栄える _____ (摂津) = 日宋貿易の拠点となった大輪泊が改称 ex. _____ (1445年の一年間に _____ 隻以上が入港) _____ (薩摩) = 対明・対琉球貿易の拠点として栄える _____ (備後) = 江戸時代に芦田川の洪水で水没する _____ (和泉) = _____ (_____ 人の豪商) _____ (筑前) = _____ (_____ 人の豪商) _____ (山城) = _____ (富裕な商工業者→ _____ を中心に運営) 応仁の乱後に _____ を再興 (日蓮宗信者が多く、 _____ の主体) ★その他の自由都市 = _____ (伊勢) ・ _____ (伊勢) ・ _____ (摂津) _____ (越前) _____ (山城) _____ (摂津) ・ _____ (河内) ・ _____ (大和) _____ = _____ (近江) _____ = _____ (信濃) _____ = _____ (伊勢)
自由 (自治) 都市 商人たちの自治に よって運営された町	
浄土真宗・日蓮宗の 寺院や道場に発達	
浄土真宗以外の一般 寺社の門前に発達	



[B] _____ (国「もと _____ 氏の領国」の戦国大名で、1551年に父 _____ の跡を継ぐ)

安土・桃山時代② [織豊政権(織田信長)]

統 一 事 業		政策(農業・経済・宗教政策)
信長 台頭	1559年 尾張統一(織田氏本家を滅ぼし、_____ 城を本拠とする) _____ 年の _____ の戦い(_____ (駿河・遠江の守護)を破る)	_____ [農業・商業政策] ① _____ (家臣・農民に面積・収入額を自己申告させる) ② _____ (_____) (座を廃止し自由な商取引を保証) → ex. _____ 国 (1567)・ _____ 城下町(_____ 年) ③ _____ の撤廃・街道の整備(軍勢派遣の迅速化など) ④ _____ に _____ (軍用金) _____ 貫文を要求(1568) 会合衆は当初拒否したが、翌年屈服して <u>信長の直轄地</u> となる
	1562年 清洲同盟(三河国の松平元康(→のちの _____)と同盟)	
	1567年 美濃攻略(_____ の孫の龍興を滅ぼし、 _____ 城を _____ 城に改称) →「 _____ 」の印判を使用(現在の定説では天下=畿内)	
	1568年 _____ (13代将軍 _____ の弟)を奉じ入京 ★永禄の変(1565)で _____ [13代将軍]が _____ らに殺害され、 従兄弟の足利義栄[14代将軍]が新将軍に擁立されていたため	
信長 包囲網	1568年 足利義昭が15代将軍(室町幕府最後の将軍)に就任 → 1569年 _____ (『 _____ 』を著した宣教師)と面会 仏教勢力への対抗のため、キリスト教の布教を許可し保護	_____ [石山合戦(1570~1580)] 1570年 _____ (_____) (本願寺11世法主)が挙兵 → _____ (_____ 国)を拠点とする ★各地の本願寺門徒に信長打倒・蜂起を命じる 徹文を飛ばし、近畿・北陸地方の _____ が挙兵 1574年 _____ の一向一揆を鎮圧 1575年 _____ の一向一揆を鎮圧 _____ 年 本願寺屈服(正親町天皇の仲裁で顕如が石山退去)
	_____ 年の _____ の戦い(_____ [越前]・ _____ [近江]を破る)	
	_____ 年 比叡山 焼打ち(朝倉・浅井軍の支援を続けたため)	
	1572年 _____ の戦い(上洛をめざす武田信玄が徳川家康を破る)	
全国 統一へ	_____ 年 _____ (15代将軍)を京都から追放(室町幕府滅亡) 将軍が有力大名に呼びかけ信長包囲網の勢力を形成していたため	
	1573年 一乗谷城・小谷城の戦い(朝倉義景・浅井長政を滅ぼす)	
	_____ 年の _____ の戦い(_____ (武田信玄の子)を破る) → 1576年 _____ 城(_____ 国)築城着手(1579年に完成)	
	_____ (3000挺)による一斉射撃で、武田の騎馬隊を撃破 1582年 _____ の戦い(武田勝頼を滅ぼす) _____ 年 _____ (家臣の _____ が謀叛) 中国地方の _____ 征討に向かう途中、京都本能寺で襲われ自害 ★当時、 _____ が _____ 城(_____ 国)を攻撃していた	
		1579年 _____ (安土で行われた _____ 僧 VS _____ 僧の宗論)

[織田信長の統一事業]

① 桶狭間の戦い(1560)

② 美濃国攻略(1567)
→稲葉山城を岐阜城に改称

③ 京都上洛(1568)
→南近江の六角氏を滅ぼす

④ 姉川の戦い(1570)
→浅井長政・朝倉義景軍を破る

⑤ 比叡山延暦寺焼打ち(1571)

⑥ 伊勢長島の一向一揆(1574)

⑦ 長篠の戦い(1575)

⑧ 安土城築城(1576)

⑨ 石山戦争(1570~80)

⑩ 天目山の戦い(1582)

[NOTE]

	統 一 事 業	主 要 政 策
秀吉 台頭	_____年 _____の戦い(_____を破る) → _____年~ _____(_____国から開始~1598年の秀吉死去まで) _____年 _____の戦い(_____を破る) → 1583年 _____城の築城着手(_____跡に建築) 1584年 _____の戦い ↓ → _____(信長の次男)・ _____と講和 1585年 _____・ _____の一向一揆鎮圧 小牧・長久手の戦いで徳川家康と結んだため征伐	
全 国 統 一	_____年 _____服従(四国平定) → _____年 _____天皇が秀吉を _____に任命 _____年 _____発布 関白就任により天皇から全国の支配権を委ねられたと称して 全国の戦国大名に停戦を命じ、領国の裁定を秀吉に任せる _____年 _____服従(九州平定) → _____年 _____(宣教師の _____日以内の国外退去を命じる) _____年 _____滅亡(_____) _____年 _____服従(奥州平定) 惣無事令違反を理由に秀吉が20万以上の大軍で征伐 1591年 _____(検地帳)・ _____(国単位の絵図)の徴集 全国の支配者として御前帳・国絵図の提出を諸大名に命じる →全大名の石高が定まり、大名は石高に応じた軍役を奉仕 _____ [検地反対一揆(検地政策に対する一揆)] _____ 1587年 _____の一揆(_____国の国人・地侍層の一揆) 1590年 _____・ _____一揆(_____国の国人・地侍層の一揆)	1586年 _____天皇が秀吉を _____に任命 ★後陽成天皇より「 _____」の姓を賜る(羽柴秀吉→豊臣秀吉) _____が1580年に _____を _____に寄進したことが誘因 _____氏平定後、 _____で発布(→貿易は奨励したので効果なし) ★ _____・ _____(博多商人)に博多復興を命じる _____年 _____(秀吉が _____の北野神社で開催した大茶会) 1588年 _____(京都に新築)に _____天皇を迎えて歓待 朝廷の伝統的権威を利用して、諸大名に天皇と秀吉へ忠誠を誓わせる _____ [_____(武士と百姓の階級分離)] _____ _____年 _____(百姓一揆の防止・ _____をはかる) 京都の _____寺大仏殿建立を名目に、諸国の百姓から武具を徴収 _____年 _____(倭寇などの海賊行為を禁止) _____年 _____(武士・百姓・町人などの身分変更を禁止)
朝 鮮 出 兵	_____ [朝鮮出兵(本陣= _____国の _____)] _____ _____年 _____(_____の奮戦) ← _____ → _____(朝鮮水軍)の活躍(_____を考案) ★ _____(明の武將)率いる明の援軍もあり苦戦 →のち、小西行長・ _____による講和交渉開始 _____年 _____(翌年、秀吉死去により撤退) ★朝鮮側ではそれぞれ _____・ _____という [朝鮮出兵の影響] ①朝鮮陶工の強制連行 → _____(_____・薩摩焼・萩焼) ②活字印刷術の伝来 → _____(_____天皇の命で出版)	_____年 _____(朝鮮出兵の兵力・人夫を把握するための戸口調査) ★秀吉は1591年に関白を養子の _____に譲り _____となったため、 人掃令の発布者は豊臣秀次(秀頼誕生後、自害を命じられる) _____ [イスパニア(サンフェリペ号事件により関係断絶)] _____ _____年 _____船 _____号が _____に漂着 → _____(五奉行の一人)を調査奉行として派遣 1596年 _____(_____宣教師らを処刑) イスパニアが領土拡大に宣教師を利用していると聞いたため

[NOTE]

<パテレン追放令(1587)>

①パテレン追放令発布の背景

(1) _____が _____を _____に寄進(1580)

(2) 宣教師が寺院や神社を破壊している

(3) ポルトガル商人が日本人を奴隷として外国人に売買している

② _____(_____(宣教師)の _____日以内の国外退去を命じる)
→「日本は神国でありキリシタンは邪法」と規定し、布教を禁じる

③but 南方との貿易は奨励したため、取り締まりは不徹底に終わる
→南蛮貿易はキリスト教の布教と一体化して行われていたため

<朝鮮出兵>

①明の衰退→日本を中心とする国際秩序の形成をめざす

②明出兵の準備として刀狩令・身分統制令で兵農分離を推進

→武士は出兵用の兵士、農民は兵糧としての米を供給

③ _____のポルトガル政庁・ _____のイスパニア政庁・
台湾の _____に日本への服属を要求するが無視される

④明を征服するために、対馬の _____氏を介して
朝鮮に明への先導(道案内)を求めるが拒否される

[B] 太閤検地

1582 年～ (年 の 国 から 1598 年の秀吉死去まで行われた検地)

① 制 (生産量をに換算して表示) → 制 (生産量をに換算して表示)

★太閤検地は「 」と呼ばれる

② 度量衡の統一 (地域ごとに異なる収穫・面積単位を全国的に統一)

(1) 枡の容量の統一 (単位 = 石 ← 斗 ← 升 ← 合)

→ (全国統一の枡) の採用

(2) 面積単位の統一 (単位 = 町 ← 段 ← 畝 ← 歩)

→ 1 間 = 尺 寸 (約 191cm) → 1 間四方 = 1 歩

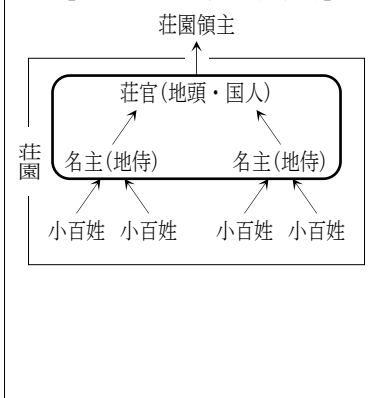
1 段 = 歩 (旧来の律令制度は 1 段 = 歩)

等級 (田を 4 等級に分け)	(斗代) (一段当りの標準収穫量)	田の面積 (段別)	(石盛に面積を乗じた生産高)
上 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
中 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
下 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
下々田	斗	× 面積 (段)	= 生産高

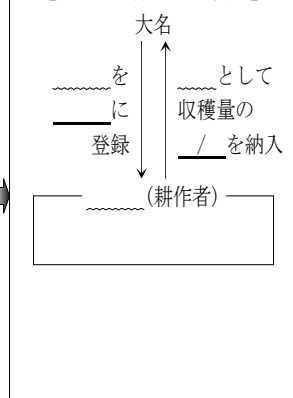
③ の原則 (重層的な権利関係による (中間搾取) の否定 → 荘園の消滅)

に (耕作者) を記録し, 納入の義務を負わせる (税率は 2 公 1 民)

[職の秩序 (重層的な権利関係)]



[一地主一作人の原則]



④ 太閤検地の結果

(1) 検地反対一揆 (の一揆 (1587) ・ 国 の 一揆 (1590) など)

(2) の確立 (大名は領国の石高に見合った軍役を奉仕)

(3) 本百姓体制の確立 (百姓は石高を基準に年貢を納入)

(4) (支配単位としての村の範囲を確定 → 村域を明確にした近世村が成立)

(5) (村の責任で年貢を一括納入 → 惣村の自治を利用して村高 (村の石高) を確定)

図解 NOTE [度量衡の統一]

① 地域ごとに異なる枡の容量・面積単位を全国的に統一

② 同じ 1 段 (反) の田畑でも, 田畑の質によって

収穫量は異なるので, 田畑の等級を 4 つに分ける

③ 上田・中田・下田・下々田などの 4 等級に分ける

ex. 上 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

中 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

下 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

下々田 = 1 段 (反) につき 斗 の収穫

④ この 1 段 (反) から生産される標準収穫量を という

[豊臣政権]

① 直轄領 = (約 万石)

② 直轄都市 = 大坂・堺・長崎・京都・伏見

[豪商の登用]

① ・ ・ (堺商人)

★三宗匠 (茶道における三人の宗匠) と称される

(小西行長の父)・納屋助左衛門

② ・ (博多商人)

③ 直轄鉱山 = (金山)

・ (銀山)

④ 貨幣鑄造 = (が鑄造)

⑤ 政権基盤 (秀吉晩年に制度化)

五大老 (有力大名)

五奉行 (子飼いの大名)

前田利家

毛利輝元

宇喜多秀家

上杉景勝

(小早川隆景の死後)

石田三成

長束正家

前田玄以

増田長盛

[NOTE]